

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	豊中市西谷住宅建替事業 第2工区	階数	地上8F、地下0F
建設地	大阪府豊中市東豊中町	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	203人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年12月 予定	評価の実施日	2025年9月10日
敷地面積	4,413㎡	作成者	株式会社日建設計一級建築士事務所 古山明義
建築面積	907㎡	確認日	2025年9月10日
延床面積	5,120㎡	確認者	株式会社日建設計一級建築士事務所 古山明義



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.9 ★★★★★★☆☆</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B: ★★★★★★ B: ★★★★★★ C: ★★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆★☆☆☆☆★☆☆☆☆★☆☆☆☆★☆☆☆☆★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.9</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>ZEH-M Oriented相当とし、省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。</p>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱等性能等級等級5とする計画とし、省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>景観届を提出し、まちなみに調和するよう配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率給湯器、LED照明設備等を採用することで省エネルギーに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体と仕上げが容易に分別可能なことから部材再利用の可能性向上に配慮している。また、リサイクル材を積極的に使用しており、非再生資源の使用量の削減を図っている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		豊中市宮西谷住宅建替事業 第2工区					
建設地		大阪府豊中市東豊中町					
用途/区分		集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A	
①	CO2削減	★★★★☆				4	
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3	
③	断熱性能	★★★★☆				5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	1 2 3 4 5 6 7		5	
④	エネルギー消費性能	★★★★☆				5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	★★☆☆☆		2	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外		評価対象外		
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					4.1	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上					3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善					4.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	-
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							